

## 設立趣旨書

21世紀、文明は発達し、何不自由なく物を手に入れることのできる時代になりました。しかし、その物的豊かさや便利さによる非自然的環境は、外部からの刺激に対する抵抗力を弱め、心の不調や歪み（ストレス）を生みだしました。

私たちは、植物とふれあい、親しむことを通じて、心身ともに健康で潤いあるライフスタイルを築いていくために、植物（薬草や健康に役立つ野菜や穀物などはすべて含む）の有効成分を用いて心身の不調やトラブルを予防・解消し、心身を良好な状態に導いていくことを提唱します。

見る、触れる、育てる、味わう、香りを楽しむなど、植物をあらゆる方法で取り入れることは、人々の五感（視覚・嗅覚・触覚・味覚・聴覚）と六感（心）を刺激し、自然治癒力の向上、心身の調和に役立ち、また、植物を育ていとおしむことは、思いやりの気持ちや豊かな感情を育みます。

近年、植物セラピーは、心身の不調や障害を予防・解消し、心身を良好な状態に導くため、取り入れられるようになってきましたが、未だ十分とはいえません。

植物セラピーに関する研究を通じて、植物や自然と共生することの意味を考え、自然の恵みの正しい知識や技術の普及をめざし、植物セラピー研究学会を設立した次第です。

平成 27 年 1 月 17 日

植物セラピー研究学会 会長 西村 博子